NANBU

教育目標
「自学、信愛、努力を基本とし、人間らしい生き方を求める生徒を育てる」

学校だより第４号
氷見市立南部中学校
令和元年７月17日

心のスイッチを入れよう

校長　扇谷　孝代

心のスイッチ　　東井　義雄

人間の目は　不思議な目
見ようという心がなかったら　見ていても見えない
人間の耳は　不思議な耳
聞こうという心がなかったら　聞いていても聞こえない

頭も　そうだ
はじめから　よい頭　わるい頭の区別があるのではないようだ
「よし、やるぞ！」と　心のスイッチを入れると　頭も　すばらしい働きをし始める

心のスイッチが　人間を　つまらなくもし　すばらしくもしていく
電灯のスイッチが　家の中を明るくし　暗くもするように

この詩は、入学式の日、生徒に紹介した詩です。その折、「この詩を学校生活に当てはめてみると、『同じように先生の話を聞いていても、ちっとも聞こえていない人がある。〝本当にそうだ〟と、腹の底まで聞く人もいる。同じように学校に来ていても、ちっとも学びが進まない人がいる。毎日、ぐんぐん学びを積み上げていく人もいる。今まで、何となくだらだらと日々を過ごしていた人も、ある時心にスイッチが入ると、急にすばらしい力を発揮することがある。』という感じでしょうか。あらゆることに心を込めて、本気で取り組むことで、心のスイッチを入れることができます。」と話しました。

驚いたのは、隣の朝日丘小学校の校長先生も、この詩を今学期の始業式で子供たちに紹介しておられたことです。４月号の学校だよりにも掲載されていました。同じような願いをもっていらっしゃったことに、手前勝手ではありますが、とてもうれしい思いがしました。

さて、そんな４月初めから月日は流れ、あと数日で第１学期の授業が終了するところまで来ています。始業式と今とでは、生徒一人一人の置かれている状況はずいぶんと変わっています。例えば３年生は、多くが部活動を引退し、この後始まる夏季休業は、中学生になってから初めての部活動のない長期の休みとなります。時は止まることなく流れます。今、多分生徒の多くがわくわくしながら迎えようとしている夏季休業も、ぼーっと過ごしているとあっという間に過ぎ去ってしまいます。だからこそこの時期、今一度、心のスイッチを入れることが大切かと思います。

そのために、生徒にはぜひ、第１学期の自らの取組を振り返ってほしいと思っています。何に本気で取り組んでいたのか。その結果、何が自分のよいところだと分かったのか。何が自分の課題だと感じたのか。この先、何を伸ばしていこうと思うのか。何を克服していかなければならないのか。そもそも、何かに本気で取り組んでいたのか。

終業式では、このような話をしようと思っています。生徒一人一人が自分で、自分の心のスイッチを入れることができるよう、ご家庭でも励ましていただけたらと思います。

高岡地区選手権大会結果　（県選手権大会出場）

○　新体操　団体２位
　　個人総合２位　池田楓花
　　個人総合３位　大石実桜
　　ボール２位　　滝下聖来
　　ボール３位　　池田楓花
　　クラブ１位　　池田楓花
　　クラブ２位　　大石実桜
　　クラブ３位　　中村早希

○　ハンドボール　男子３位

○　バドミントン　女子団体３位
　　ﾀﾞﾌﾞﾙｽ２位　髙本莉緒・杉澤彩加

○　水泳　男子1500m自由形１位　森蒼真
　　400m自由形３位　森蒼真
　　女子 400m自由形２位　村上愛

○　相撲　65kg以上85kg未満３位　池永貴博

富山県選手権大会結果

○　新体操　団体３位

○　ハンドボール　男子３位

○　水泳　男子1500m自由形３位　森蒼真（北信越大会出場）

○　相撲　中量級　池永貴博（北信越大会出場）

南部中学校のこの頃

○６月21日　福祉施設訪問

３年生が福祉施設なごみの郷へ行ってきました。実行委員が中心となって企画し、合唱を披露したり一緒に活動したりしました。「心温まるよい時間を過ごすことができた」「おばあちゃんの笑顔を何回も見ることができてうれしかった」など、心優しい感想が寄せられました。

○６月28日　氷見高校説明会

進路学習の一環として、３年生が、地元にある氷見高校の先生や生徒たちから、学校や高校生活について説明を受けました。本校出身の先輩の話とあって、真剣にアドバイスに耳を傾けていました。それぞれの生徒が自分の進路を考える上でよい機会になったと思います。

○７月１日～７月５日　「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」

２年生が５日間の職業体験学習に臨みました。商品に黙々とラベルを貼る集中した表情、幼い子供たちと遊ぶ無邪気な表情、綱をつたいながら壁を登る真剣な表情等々、学校ではみられない生徒の顔がありました。受け入れ先の事業所の方々が、温かく子供たちを見守ってくださっていることに、感謝の思いでいっぱいになりました。

○７月４日　ふるさと発見塾

１年生が柳田布尾山古墳・ひみラボ水族館・朝日貝塚を見学しました。身近にあるふるさとの宝物について、その魅力を再発見する機会となりました。

○７月10日　市中学校音楽会

市内５校の生徒が集う中学校音楽会が、高岡文化ホールにおいて開催されました。３年生や吹奏楽部員が、日頃の音楽の授業で学習している曲や部活動で練習している曲等を披露しました。南中生は混声三部合唱「Gifts」を歌いました。美しく、力強い響きの合唱でした。

学校からのお知らせ

○「特別の教科　道徳」（道徳科）の評価について

本年度から全面実施となった道徳科の評価については、他の生徒との比較による評価ではなく、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として記述式で行うことが求められています。そのため、道徳科の学習活動に着目し、年間や学期といった一定の時間的なまとまりの中で、生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握する必要があります。このことから、道徳科の評価については、毎学期必ず通知表に記載するということはせず、個人内の成長の過程を捉えて、各学年において適切な時期に記載することにしました。生徒が自らの成長を実感し、更に意欲的に取り組もうとするきっかけとなるような評価を目指したいと考えています。